

第72回岩手県中学校総合体育大会バレーボール競技の運営について

1. プログラム代金の納入について

- (1) 大会申し込みデータで事前注文したプログラム代金を、7月11日(金)までに下記の口座に振り込みをお願いします。注文冊数×800円です。

振り込みの際は、学校名がわかるようにお願いします。(例:イワテ ダンシ など)

- (2) 注文したパンフレットは、当日、受付でお渡しします。(領収書とチーム用パンフレット1冊を一緒にお渡しします。)
- (3) 合同チームで領収書を学校ごとに分ける場合は、こちらの連絡先にメールで連絡ください。 連絡先：h.shina@gmail.com
- (4) パンフレットの当日販売も予定していますが、限りがありますので事前注文にご協力ください。
- (5) チームの事情で参加を辞退した場合も、プログラム代は返金されません。(プログラムは、後日お渡しします)

		振込先	
金融機関	岩手銀行		
支店名	宮古中央支店	041	
口座番号	普通	2063725	
口座名義	岩手県バレーボール協会 中体連部会 委員長 しなひろや 階浩哉		

2. エントリー確認用紙、構成メンバー表の提出について

- (1) エントリー確認用紙と構成メンバー表を、7月14日(月)から17日(木)の12:00までに下記アドレスまでメール送信により提出してください。

それ以降に変更する必要が生じた場合は、下記アドレスに問い合わせください。

送信先：岩手県中体連バレーボール専門部 工藤敬太

iwatevolleyjhs@yahoo.co.jp

- (2) エントリー確認用紙は、一度印刷し、自筆の監督サインを記入したものをPDF形式で送信してください。
- (3) 構成メンバー表は、PDF形式またはExcel形式のまま提出してください。

3. その他

(1) 体育館の入場について

役員入場	8 : 0 0	第1アリーナ1階入り口
選手・応援入場	8 : 1 5	第1アリーナ2階入り口・第3アリーナ入り口
受付	8 : 2 0	第1アリーナ入り口前
コート開放	8 : 2 5	第1試合のチームのみ

館内は土足禁止となっています。下足置きは使用できませんので、各自で下足入れを準備するようにしてください。

(2) 大会2日目は、第2アリーナをボールを使わないアップ会場として開放する。

(3) 補助員について

1日目の第1試合の補助員(線審4名)は、第3試合のチームからお願いします。

8 : 3 9までにコートに集合してください。

第2試合以降の補助員については、前の試合の敗者チームからお願いします。

2日目の補助員は、地区の生徒役員で行います。

(4) 駐車場について

大変混雑が予想されます。岩手県バレーボール協会HPの連絡を確認し、近隣の商業施設への駐車はご遠慮ください。各校できるかぎり乗り合わせるなどご協力をお願いします。バスを利用する場合は、指定のバス駐車場をご利用ください。

競技・運営上の確認事項

- 1 競技は、2025年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 受付時刻は各チームの試合設定時刻の1時間前とする（第1試合は8時20分とする）。
コート開放時刻は8時25分（第1試合のチームのみ）とする。
- 3 ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー及び選手以外は入ることができない。ただし、プロトコール前は、当該校の中学生の入場も認める。
- 4 監督、コーチ、マネージャーマークは左胸部につけ、監督、コーチは統一された服装でベンチに入ること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。また、身体へのマジック等での書き込みは禁止する。
- 5 設定時間より遅れた場合、前の試合が終了したら、10分間の合同練習（パス程度）後、プロトコールに入る。同じフロアの試合が終了している場合は自由にコートやネットを使って練習できる。
なお、当該チームの試合が連続する場合は、最大15分間（フルセットの場合は最大20分間）あけてプロトコールに入る。
- 6 試合開始の予定時刻を定めているが、第2試合以降は予定した時刻より遅れることがあっても早く開始されることはない。プロトコールはプログラム記載時刻の11分前とする。
- 7 公式練習は6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は、各チーム3分間とする。
- 8 試合開始、終了時のあいさつの後、ネット越しに握手をする。
- 9 2日間ともスコアラー、点示係は花巻地区の生徒が行う。
ラインジャッジ（4名）は以下の割当てで参加チームが行う。
 - 1日目 第1試合は第3試合のチーム（8時39分に割り当てコート記録席に集合すること）、第2試合以降は前の試合の敗者チームとする。
 - 2日目 すべての試合で花巻地区の生徒が行う。

審判上の確認事項

- 1 本大会は、2025年度（公財）日本バレーボール協会（以下 JVA）6人制競技規則による。
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 リベロの不法な交代は、JVAの取り扱いに準じる。
（リベロの不法な交代が発覚した時点で、遅延制裁や反則の対象となる。）
なお、リベロとの交代はサイドライン上ですれ違うように行うこと。
- 3 各セットの開始時にコート内で円陣を組む場合、そのタイミングはスターティングラインアップの確認前後どちらでも構わない。
ただし、人数は最大でもスターティングリベロを加えた7人までで速やかに行い、スターティングラインアップの確認や試合開始の準備をすること。
- 4 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。
コート内の選手で対処しきれない場合に備えて、クイックモッパー（2名以内）を待機させることができる。
クイックモッパーは、控え選手または選手以外の部員から選出する。
 - ① 控え選手の場合は、ベンチに待機して責務を果たす。
 - ② 選手以外の部員の場合は、1人は記録席脇、もう1人はベンチとウォームアップエリアの中間で待機して責務を果たす。また、服装は選手と区別し、ボール拾い等、チームのサポートは一切行うことはできない。
- 5 ゲームキャプテンは、審判に対し判定について質問する権利を有するが、抗議をすることはできない。また、他の競技参加者は質問する権利を有していない。
- 6 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。
相手チームに向かってのガッツポーズやラインジャッジの判定に対する抗議等は「軽度の不法な行為」として扱い、制裁の対象となる。
「軽度の不法な行為」は、ステージ1（口頭警告）→ステージ2（イエローカードによる警告）のとおり、段階的に警告が与えられる。
- 7 選手交代（サブスティチューション）の時は、セカンドレフェリーやスコアラーが確認できるようにナンバーカードを高く掲げて要求すること。
- 8 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。
下記①～③の行為は、遅延制裁の対象となる。
 - ① 正規の試合中断（タイムアウト・選手交代）の要求後の取り消し
 - ② タイムアウト終了後、コートへの戻りが遅い等、試合再開を遅らせる行為
 - ③ ラリー終了後、サービス許可までの時間を超える長時間の靴紐の結び直し等、ラリー再開を遅らせる行為
- 9 各コートには、ウォームアップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 10 セット間は、試合中のチームのみフリーゾーンでのボール使用を認める。ただし、隣接コートの試合の妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 11 タイムアウトの要求は、オフィシャルハンドシグナルを明確に示すこと。
- 12 監督は、試合中、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。ただし、ラインジャッジの判定の妨げにならないように注意すること。